

Mナビ新聞



第 53 号
令和8年8月7日
宮城県総合教育センター
情報教育班

まとまった時間が取れる夏休みは日頃の実践を振り返り、夏休み明けの準備をする絶好の機会です。今回のMナビ新聞では、ちょっと一息つきながら、先生方の働き方を劇的に変える校務DXとして「Googleカレンダーの共有&予約機能」を特集してお届けします！

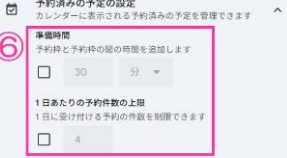
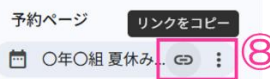
この夏がチャンス！ 校務をもっとスマートに ～Googleカレンダー活用術～

担任の先生方は**保護者面談**や子供たちとの面談、管理職の先生なら**職員面談**、養護教諭の先生なら**スクールカウンセラーの予定作成**や**職員検診の予約**…。このような**日程調整**では「希望日時の紙を回収し、手作業で調整し、決定通知を印刷して配る…」という作業に追われていませんか？

Googleカレンダーの「**予約スケジュール**」機能を使えば、保護者や児童生徒が空いている枠を選ぶだけで、面談の予約受付とカレンダー登録がすべて自動で完了します！

総 日程調整の手間をゼロに！「Googleカレンダー・予約スケジュール」で面談予定を自動作成しよう

(県域Googleアカウント(～@gs.myswan.ed.jp)等でGoogleにログインしてから行ってください)

 ①Googleカレンダーを開き、左上の「+作成」をクリック → 「予約スケジュール」を選択	 ②タイトルを入力(例:「〇年〇組 夏休み保護者面談」)し、③予約の長さ(1枠の時間)を設定	 ④受付する「日付・時間帯」を設定する(繰り返し設定で曜日ごとに設定も可能)
 ⑤予約の受付開始日(〇日前)と終了(予約〇時間前まで)を設定	 ⑥面談と面談の間の準備時間を設定し、「次へ」をクリック	 ⑦「タイトル」「説明」を入力し、予約時に回答させたい質問を追加
 ⑧「保存」を押して作成終了。作成できたら、左側にある「予約ページ」からリンクをコピーして、共有することができる。	 作成した予約スケジュールは⑧の三点リーダー(:)を選択するとプレビューや編集ができる(上図はユーザーから見た予約フォームの画面)	

- 💡 予約スケジュールは、あらかじめ予約開始日時を告知しておく、不公平感もなくスムーズに運用できます。
- 💡 予約スケジュールは人ではなく、校内の備品や共用スペースの予約など、工夫次第で色々な活用法が考えられます。

Googleカレンダーを共有してスケジュールをリアルタイムで可視化しよう

「カレンダー共有」を活用すれば、校内の予定共有はもちろん、学校・学年・部活動の行事予定も子どもや保護者へスムーズに届きます。紙の予定表を印刷・配布する手間を大幅に削減できます！

- ① Googleカレンダーを開き、左側の「マイカレンダー」から共有したいカレンダーにマウスを合わせ、3点リーダー(:)→「設定と共有」をクリック
- ② 校内で共有なら「共有する相手」の欄で「+ユーザーを追加」をクリックし、共有したい先生のメールアドレスを入力
- ③ 権限を選択(例:「閲覧(すべての予定の詳細)」や「予定の変更権限」など)して「送信」をクリック
- ④ 保護者や学校全体に公開する場合は、「アクセス権限」の項目で「一般公開」や「組織(ドメイン内)で利用可能にする」を設定し、共有リンクをコピー！

📌 カレンダーを共有するメリット

- **教職員間:** 互いの出張・年休・特別教室の使用予定がリアルタイムで把握でき、ダブルブッキングや確認の手間がなくなります。
- **保護者:** 学年行事や下校時刻変更などの年間・月間予定をオンラインで共有でき、問い合わせ対応の軽減やペーパーレス化につながります。

📌 共有時の「注意点」とアクセス権限の適切な設定に注意！

特に校外に共有する場合は、**個人情報が入らないこと**と、**共有するカレンダーを間違えない**ようにしなければなりません。また、公開用カレンダーの誤編集を防ぐため、学校管理者アカウントで公開専用カレンダーを作成して編集権限を一部の先生に制限したり、複数人で確認しながら公開作業を行ってください。

「チョットもっと授業ナビ」で、活動手順を自分のペースで確認し、主体的に考える授業をつくろう

「チョットもっと授業ナビ」は、普段の授業での困りごとをICT活用で改善を図るストーリー仕立ての研修動画です。実践的なICTの操作演習も盛り込んでいます。研修動画は12本ありますので、月1回の研修や、会議後の隙間時間での操作演習など、各校の状況に合わせて柔軟に活用できます。その中から、今月は研修動画No.3「活動の手順を確認しよう(手順の確認)」をご紹介します。



「チョットもっと授業ナビ」

テーマ	研修動画No.3 「活動の手順を確認しよう(手順の確認)」	
授業の困りごと	演示実験や実習など、全員を集めて手順を説明する場面はよくありますが、「後ろになった子供がよく見えない」ことや「一度に説明されても覚えられない」といった状況になってしまうことはよくありますね。このような課題を解決するにはどうすればよいでしょうか…。	でも 今度は僕が見えにくくなったな…
ICT活用で改善	解決のために用いたのが、「録画した解説動画を共有する方法」です。事前に録画した解説動画を学習支援ソフトで子供たちと共有して、学習用端末で各自が自分のペースに合わせて視聴します。好きなタイミングで何度も見返せることで、新たな疑問やポイントに気づき、自ら学びを深める「主体的な学び」へとつなげています。	うん！ 拡大できるから細かいところも分かる！
演習	授業支援ソフトでできること(教材や提出物の管理、学習状況や成果の把握、思考過程の可視化など)の紹介と、教材用動画の撮影方法や子供たちと教材動画を共有する方法について解説しています。これらの方法を活用できる場面や操作方法についてまわりの先生方と考えを共有してみましょう。	操作を体験してみましょう！

(編集後記) 次期指導要領の改定を見据え、1人1台端末の日常化や生成AIの急速な進歩など、情報教育は大きな転換期にあります。先生方に求められる情報活用能力もこれまで以上に高まってくることが予想されます。お忙しい日々をお過ごしのことと思いますが、この夏休みはほんの少しだけでも穏やかな時間をお過ごしただきながら、ちょっとだけDXしてみませんか。

[第53号担当 鈴木]